

授業シラバス

コース名 自転車プロダクトコース

科目名	ビルディング実習Ⅱ			授業のねらい ラグレスフレーム製作、パーツ製作、オリジナルデザインのフレームを設計・製作を通して、ロウ付けのフィレット仕上げや金属の曲げ加工、ブレーキ台座の取り付け方法を習得し、自転車フレーム製作の応用力を身につけオーダーメイドに対応できる技術を身につける。
担当教員	村山、高橋、横溝、橋本、北島、大橋			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	360時間	単位数	11単位	到達目標 オリジナルコンセプトの自転車図面に沿ったフレーム・フォークを完成させることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝村山・北島(フレームビルダー)			
授業の計画展開	ビルディング実習Ⅱ-1 パーツ製作1(ハンドルバー)			
	内容 熱間曲げ加工によるハンドルバーの製作			
	ビルディング実習Ⅱ-2 フレーム製作2(アドベンチャーバイク)			
	内容 ラグレスフレーム前三角の製作を通し、スポーツバイクの基本構造、製作方法を習得する。			
	ビルディング実習Ⅱ-3 フレーム製作2(アドベンチャーバイク)			
	内容 ラグレスフレーム後三角の製作を通し、スポーツバイクの基本構造、製作方法を習得する。			
	ビルディング実習Ⅱ-4 パーツ製作2(キャリア)			
	内容 パイプの曲げ加工によるキャリア製作を通し、パーツと自転車の関係や製作方法について学ぶ。			
	ビルディング実習Ⅱ-5 フレーム制作応用1			
	内容 オリジナルバイクを一から考え制作する応用課題(前篇)			
履修上の注意事項	ビルディング実習Ⅱ-6 フレーム制作応用2			
	内容 オリジナルバイクを一から考え制作する応用課題(後篇)			
	ビルディング実習Ⅱ-7 製作テスト			
評価方法	内容 ろう付けテスト/ジグセットテスト/筆記テスト。			
	オリジナル図面作成に取りかかる際、市場で販売されている自転車やトレンドを積極的にリサーチすることが大事である。			
評価方法	提出作品の精度・仕上げ完成度、及びオリジナルフレームのアイデアと図面整合性を総合評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	学内で作成された課題要項を使用。			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 自転車プロダクトコース

科目名	メンテナンス実習Ⅱ			授業のねらい 自転車安全整備士・自転車技士の資格取得に必要な技術を習得。 また、SHIMANO Di2などの電動パーツを取り扱い整備の応用力を身につける。
担当教員	大槻、関根、鈴木、高橋、横溝、大橋			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	384時間	単位数	12単位	到達目標 市場に流通されている主流な車種（幼児車・クロスバイク・BMX・電動アシスト自転車・トラックバイク等）の分解・組み立て方法を習得。また、自転車安全整備士・自転車技士の資格合格レベルの知識と技術を習得する。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝関根（ショップ経営）、大槻（自転車整備）			
授業の計画展開	メンテナンス実習Ⅱ-1 シティーサイクル実践編			
	内容	販売店の日常業務として行われる開梱時の商品チェックから組み立て、返品対応など、納品から陳列までの一連の流れを学ぶ		
	メンテナンス実習Ⅱ-2 メンテナンス技術確認テスト			
	内容	1年次で学習したシティバイク、ロードバイク、ホイール組みの知識及び分解組立技術の再確認、テスト。		
	メンテナンス実習Ⅱ-3 Di2・油圧基礎知識			
	内容	スポーツバイクで定番になりつつあるSHIMANO Di2や油圧ブレーキの構造や知識を学び、整備力を身につける。		
	メンテナンス実習Ⅱ-4 バイシクルビジネス概論			
	内容	卸、小売りなど、自転車業界における様々な業種の内容を理解する。		
	メンテナンス実習Ⅱ-5 自転車安全整備士・自転車技士対策			
	内容	安全整備士、自転車技士の資格取得をするために必要な知識と技術の習得。		
	メンテナンス実習Ⅱ-6 多種自転車整備基礎知識			
	内容	campagnoloコンポーネント、フルサスサグ調整、サスペンションフォーク、幼児車、クロスバイク、BMX、完組ホイール、電動アシスト自転車、トラックバイクなど、流通する代表的な車種の周辺知識を学ぶ。		
	メンテナンス実習Ⅱ-7 多種自転車整備実習			
	内容	campagnoloコンポーネント、フルサスサグ調整、サスペンションフォーク、幼児車、クロスバイク、BMX、完組ホイール、電動アシスト自転車、トラックバイクなど、流通する代表的な車種の周辺整備力を身につける。		
	メンテナンス実習Ⅱ-8 メンテナンスアドバンス①			
	内容	自転車店の日常業務で対応できる、他店と差別化できる技術や知識について学ぶ		
	メンテナンス実習Ⅱ-9 メンテナンスアドバンス②			
	内容	ショップ営業の際に必要な不可欠なメンテナンス技術や知識を学び習得する。		
履修上の注意事項	就業時に必要となるメーカーカタログの読み方やパーツの互換性を熟知し、販売の即戦力を養うことが大事である。			
評価方法	学内基準の精度評価表を基準とし、組み付けが完了した車両・車輪の整備レベルを確認・評価する。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	学内で作成された課題要項を使用。			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 自転車プロダクトコース

科目名	デザイン実習Ⅱ			授業のねらい ジャージデザインやカタログ作成を通して、グラフィックソフト（アフィニティーデザイナー）の使用方法を身につける。 また、各種デザインツールの応用的な使い方を習得し、自分のアイデアを他者へ伝えられるデザイン表現テクニックを身につける。
担当教員	横溝、橋本			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	264時間	単位数	8単位	到達目標 グラフィックソフトを用いたプレゼン用ボード、カタログの作成、またwebによるブログ作成など、平面構成による表現力を身につける。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝橋本（プロダクトデザイナー） 横溝（グラフィックデザイナー）			
授業の計画展開	デザイン実習Ⅱ-1 ジャージデザイン			
	内容 サイクルジャージのデザインを通してグラフィッソフトの使い方や表現テクニックを身につける			
	デザイン実習Ⅱ-2 ビジネスグラフィック			
	内容 自転車販売用のポップデザインを通してグ効果的な視覚伝達の手法について考える			
	デザイン実習Ⅱ-3 ZINE エディトリアルデザイン			
	内容 ZINE（小冊子）の企画・編集を通し、グラフィックソフト応用と断裁、製本などをの印刷の基礎を学ぶ			
	デザイン実習Ⅱ-4 ライドプランニング			
	内容 客観的な視点でライドプラン（ルート）を考え、それを実施し、webで公開するプランニング課題			
	デザイン実習Ⅱ-5 コンセプトストアプランニング			
	内容 イベントやコンセプトショップのプランニングを通し、企画の基本とプレゼンテーションテクニックを学ぶ。			
	デザイン実習Ⅱ-6 スケッチトレーニングアドバンス			
	内容 物の観察から物の構造と空間認識力を高めスケッチの上達を目指す。			
履修上の注意事項	デザイン実習Ⅱ-7 構造と素材口			
	内容 素材の特性や構造物の強度について講義と実習を通して学ぶ。			
履修上の注意事項	色や形の持つ意味や効果を十分に理解した上で作成することが大事である。			
評価方法	図面の完成度、整合性を総合評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	学内で作成された課題要項とテキストを使用。			
参考文献	なし			